事で正慶に入つた侍從武官は 和神設局を訪問した、同連設 根終のため二十日午後二時國 根終のため二十日午後二時國 根終のため二十日午後二時國 根終のため二十日午後二時國

に増列の日満顧官ならびに在郷軍人、即生式新京における在補部隊に對し限旨傳養を了へ

科長の出迎へを受け非公式に

から御諒承下さいにより二十二日朝刊は休刊致します

えきいたのちや』 さ、父の義任は、底の知れ で、父の義任は、底の知れ

粉京日日新聞社

田侍從武官

長から簡任官以上を一々紹介 した上、結城總務處憂から約 三十分間に亘つて國都建設の 概要を説明し、終つて最上で 展望し再び正應に少憩、同二 勝五十分再び高等官一員の見

かける事に決定したので廣田でも関管を決定した上閣議につて貴族院及政民雨派等に對って貴族院及政民雨派等に對いた上閣議に対して、

外政策に關し支那側は非常な成立以來その行はんとする對成立以來

は廿日論説欄に於て廣田内閣が、汪精衛氏機関紙中華日報

し概略左の如

都

相應

明朗文化

の警察を

……昨夜常任した連首都警察副鄉

が往訪の記者に左の如

本 () 和 () 本 () 和 () 本 () 和 () 本 () 和 (

廣田内閣に

前田、島田の各相は會合して特ち廣田首相及川崎、潮田木間田、瀬田本田の名相は自会にある。

の如く洩らしたノ會議協定案の内容につきえ

第二 英伊兩國軍小部隊はマテノの政府が國境線より廿キロの政府が國境線より廿キロが政境線より廿キロが政境線より廿キロが大力ででである事を象徴する。

際司法裁判所の判決が下る までライン保障係約の防禦 場定係項維持を佛白兩國政 地帶に派遣される英伊兩國 地帶に派遣される英伊兩國 地市に派遣される英伊兩國政 地市に派遣される英伊兩國政

大將依然

鑛發會社

【パリ十九日酸國通】フ

D

つたので**政黨關係閣僚**はそれ

和 第二天税制整理の最後を寫す

第一 英佛白三國軍の参謀本第一 英佛白三國軍の参謀本

香港警備演習に對する

ンドン電は廿日より行はれる 持つものでないと頻調して左【上海廿日愛図通】當地膏ロ 香港警備演習は特殊な意識を

辯明

五分 西 大 数 京

観せられ更に衰弱を加へ 、 際は今朝來依然軍態を 教育總監都競表

海は

名他は二名

スペルリン十九日發國通」。 カルノ會議の協定案は代表フカルノ會議の協定案は代表フラー總統は直ちに首腦を招致 会議對策を協議した、新協定 案に對しドイツ政府が如何な を能度に出るかは全く判明し ないが、官邊の意向を綜合す

本本語 (本語) 本語 (本語)

活した 話した 話した

陸軍の重要人事を内奏

田 內閣 對 積極

到米外交調整の爲 今夏特派使節を派遣

太平洋問題調査年次大會を機に

者の第一流を網羅しアメリカの東亜問題に對する男業、通 に就き適當なる刺戟を米國官 民の間に與へんとするもので あつて各方面から多大の住目

鋼を決し目下これが法側化を「檢討して税種の際合を行ふと」瞻には從來不當課稅、區々なを重ねてゐたが、此程その要「改正要綱は課稅物件の性質を」んとするものであつて實施のては過般來財政部に於て研究」を見る豫定である し交通稅の本質に適合せしめ印花稅(印紙稅)の改正に就「急いでゐるので近く公布實施」ともに各省區々の稅率を統一

新協定案に對する

政府意

「東京國通」 滿洲、上海兩事 一般部外論功行賞は廿日 一年後一時賞勵局より競表され たが其の中海軍関係の分は總 が其の中海軍関係の分は總 で、後、 一名で(内、 後、 一名で (内、 後、 一名で (日本) で、 日本) で、 日

高工業者の受ける利便を感じ

財産班を始め上海蛛局行政委 場所四十七名)外に上海佛教 (1) 立正、貞宗及高野山の四婦人 賞された者は船員、水先案内 (1) 人、從軍記者 通譯特に看護婦 人、從軍記者 通譯特に看護婦 人、從軍記者 通譯特に看護婦

行賞の御沙汰 満鐵總裁等にも

、東京國通」 ・野歩兵中尉以下百四十名の が兵並に蔣鐵陽係事變功勞者 ・一四百二十一名、軍嘱託七百 三十名及び海軍部外關係者四 三十名及び海軍部外關係者四 一四百二十一名、軍嘱託七百 三十名及び海軍部外關係者四 に対し、十日午後一時官 のかなあり、十日午後一時官

論功

一般部外

頼みをきかねばならなかつたしてきか、野、お前はその人の

ここをあなたに頼んだのです

いつてゐては、お前には何

出意というの生活を差しないほごには自分の生活を差しないが、昔の友谊にたいして君の節地を数はう、その代り、かうした病気にかって命がいくばくもないほごれごいふのちゃ、勿論、わしくもない自なれを快歌した。 その人はごういふ

間さして生れて來たこさが人間として上れて來たこさが人 わしは全く、この世の中に人から極秘密の懺悔をきいて、から極秘密の懺悔をきいて、

齊は父が何をい

る。しかし、自分の手から今みの州萬はすぐに御用立をす 『其人のいふこごは、お申込 『客、人間の運命さいふものとここざや』 は不安に胸を躍らせてきいたみちたものであつたから、齊 さ思ひ入つたやうに連懐し

電まあわしのいふこごを なさい』 なさい』 上演上映) 伊 入之

体(中央銀行員)同

四郎氏(北滿金鑛址四郎氏(北滿金鑛址

0

の遺骸(四) あ 3

父の口調があまりに苦痛に

井上洋服店 御召服

武官

御 差

負會の人義等で後期者中の第 順は共筒芳造氏(駐滿海軍部 順乱)で勳五等旭日章を賜り 順乱)で勳五等旭日章を賜り

歌正一氏 (朝鮮銀行員) 歌正一氏 (南鮮銀行員)

氏(滿鐵社員)同率

皇帝陛下には二十八日朝鮮経 由着任する植田隅東軍司令官 に對し金侍從武官を安東まで 又赫々たる武勳を残して廿九 日曜満する南前軍司令官に對 し于侍從武官を安東まで 新舊軍司令官

張總理を訪問、離任の挨拶 離任の挨拶 がはサー日午前十時半國務

授を述べるところあつた 授を述べるところあつた 関を述べるところあつた

傷病兵看護に砲煙彈雨を贈つしげのさんが勳八等瑞寶章、

である、自分は大正八年から現在まで警察畑で育つて なるので民衆と警察については充分理解してゐるつもりだ、今後も一生懸命でやりだ、今後も一生懸命でや

愛媛の警察部長を勤め一昨年。 寺中學を卒へ三高から東大を 大正八年卒業警視廳に入りつ いで兵庫縣外事課長から外務 省に轉じ上海に三年間駐在歸 省内務省に轉じ佐賀、和歌山

竹門健郎氏(咸鏡北道知事)

連修氏(首都警察副總監)同角田耕比(滿鐵囑託)同

● できる。 ・ で

『勿論です、私はお父さまをねばならないぞ』 わしの心持をよく祭してくれ

わしは一通り、その粗筋のここやらわかるまい、

その粗筋を話

さ、いひながらも、またも

主總會終了 回定時

本吉田源三氏(會社員)同大連へ 「一日午前七年十名 「一日午前七年十名 「一日午前七年十名 「一日午前七年十名 「一日午前七年十名 変は一生涯日職のものになった。他人より爪弾きされなけ、お前になり、お前になり、お前になり、お前になり、お前になり、お前になり、お前になり、お前になり、お前になり、お前になり、お前になり、お前になり、 信じてゐます……』 もしその時、その三十

しばらく沈默した。が彼はやつご言葉をつべけた。『實はその人の家には、代々ある悪い病気があつたのちやそれでその人は若い頃からそのために結婚はしなかつた。

益處分の內客は今期の損 類益對算表、開處分案等 預益對算表、開處分案等

明日の出 第五時 四十分日の出 第五時 四十分日の出 第五時 四十分日の人 第五時五十四分月の人 第四時四十三分月の人 第四時四十三分 やはり罪人の子供さして後指 をへてはくれない、お前達は をなってはくれない。 お前達のためにそんなこさを 策からではあるが、世間ではや、それもみんな、わしの失 ればならないこごになるのち 子孫には憂目を見せないつも

器られて行った。

ばならぬさ思ったのちや』 それを考へるさ、わしは先方 お父さまのお心はよく 教任の話は、

一家のためにその人のたのみで残体ない。 で、遠く支那に渡ったのもそ で、遠く支那に渡ったのもそ

水をたらし財産を蓄へるのか もう別々に自分の全身に襲ったかった。呪はしい病気は、

らかすまり居てし致も約豫の 店弊は命用御非是

下さい店内に新着品 柄の御選定は是非 反物を見て御定め

春も迫る西公園 突如爭鬪 頭のセパー 飼鹿を唆み殺や

かり公園の愛嬌者熊公や、鹿、お猿さん達は日當りよい小石の脇で日向ばつこに毎日を樂しんでゐたが突如こゝに 譽の陽さしに西公園の花園も步道もふんはり膨み、盪い空氣を漂はして國都人をまねいてゐる、吾等の春來るとば

た際同じく千鳥町一丁目七番 込み庭小屋の前を通りかょつ いた際同じく千鳥町一丁目七番 新京犬猫病院で診察すること 狂犬の虞れあるので二十一日 目にかいつて種々手質をつく

人は新京特別市雲鶴特二百五三ッ折財布を届け出た、この

入つてゐたがそうしたうちに 五十一圓五十三錢、一時預り 五十一圓五十三錢、一時預り

職鐵菊水寮二二九號室内山巖 た』と一青年が青くなつて届 た』と一青年が青くなつて届 ると果してとの青年のもので ると果してとの青年のもので

絶好のお彼岸日和に

お寺へ!公園

放しておけば野犬と看做す

財布を拾はる

た坊ちやん嬢ちやんの家族連からパパ、ママに手を引かれ 人引きもきらずサクノ〜と播一なり、プログラムも小唄、舞生す忠靈塔には早朝から愛詣」た錚々の顧觸れ五十余名から鬼となつた幾千の英麗鎭まり、日滿花街の綺麗どころを選つ 四日二日間に亘り記念公會堂 豐富な色彩を加べたもので感四日二日間に亘り記念公會堂 豐富な色彩を加べたもので感謝新記兒所では來る四月三日 踊、清元、新劇、耿蝶伎其仙

春季皇靈祭遙拜式

長、各属長等十数名参列した。

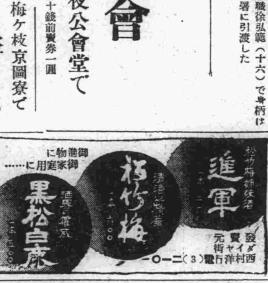
日滿花街の後援で

(五九)外二名が三岔河に歸 (一枚十錢(を興へて立ち去つ所三岔河驛前永順昌方李鐘達)1圓)なら ぬ三 枚の入 場券

忠霊塔参詣人ひきもき

大新京 む音は夕方まで續いた 中、十五、六才位の鮮人少年 に訴へ出たので武智巡査が手 大新京 む音は夕方まで續いた 中、十五、六才位の鮮人少年 に訴へ出たので武智巡査が手 「大新京 む音は夕方まで續いた 中、十五、六才位の鮮人少年 に訴へ出たので武智巡査が手 「大瀬原 む音は夕方まで續いた 中、十五、六才位の鮮人少年 に訴へ出たので武智巡査が手 「大瀬原 む音は夕方まで續いた 中、十五、六才位の鮮人少年 に訴へ出たので武智巡査が手 「大瀬原 ひ音は夕方まで續いた 中、十五、六才位の鮮人少年 に訴へ出たので武智巡査が手 「大瀬原 ひ音は夕方まで續いた 「大瀬原 ひ音は夕方まで續いた 「一十五、六才位の鮮人少年 に訴へ出たので武智巡査が手 「大瀬原 ひ音は夕方まで續いた 「大瀬原祭」 「大瀬原祭」 「大瀬原祭」 「大瀬原祭」 「大瀬原祭」 「大瀬原祭」 「「大道原祭」 「大瀬原の大場祭 本署に引渡した 「大瀬原の大場祭 本署に引渡した」 「大瀬原) 「大道原) 「大道原)」 「大道原)」

五、一人と報じたが同氏は一昨年 熊本縣師範舉校が、一大本教授滅の手新京にも及り、ぶ」と題する記事中、日本橋が、一大本教授滅の手新京にも及び、都建設を通り三十七番地質田農樹氏も、「大本教授滅の手新京にも及び、本人と報じたが同氏は一昨年 熊本縣師範舉校



慈善演藝大會

來る四月三、四兩夜公會堂で

一十錢前賣券一圓

ら同九時までの間留守中に机一教とは關係なきものであつた永新一氏は廿日午後七時半か 時に祭壇をも撤去し全く大本東三條通り梅ケ枝京岡寮内吉 末以來大本教を完全に離退同

アルメニア人もある、グルジ

ボフ氏は「舊い時代の満ヨンだ、満洲國を歌の奏いた、満洲國を歌の奏

俄系エミグラント達はくけら

新京事務局正式發會式を見る

伊關多右衛門氏 橋通八三常三十五四四三月二十二日於周教會 組合教會集會

馬の都合は

二十二日 半より西公園忠魂碑前(新京二十二日(日曜日)午前五時

馬術部遠乘り會 烈五時四十分)

間があれば南新京附二十二日午前十時か二十二日午前十時か一十二日午前十時か一十二日午前十時か

字 附 佐藤正昭氏は今回 念として八島小學校父兄會へ 念として八島小學校父兄會へ 方面に遠乘を行ふ模様である

△天勝公演畫夜二回

1」と謝禮金を贈つた で落したもの、鳥氏の での態で歸省電報を打 のの態で歸省電報を打 隔月發行

刊號を發行したがこの程編輯である「満洲體育」は先般創 であるが今後は指導欄を更には四月十五日頃出版する豫定は四月十五日頃出版する豫定

濱田豐樹氏は 大本教ご全く無關係

けふトップ 國都建設視祭團

は小山、長野、三浦三教諭引は小山、長野、三浦三教諭引 を訪問し、同局屋上から國都 を訪問し、同局屋上から國都 を訪問し、同局屋上から國都 を訪問し、同局屋上から國都 米國東部諸州の

高

大洪水擴大 死者百五十三

「ワシントン廿四日發國通」 東部諸州を襲つた大洪水は其 の後益々擴大し今や浸水地域 は十一州に及び、廿日午前八 時現在死者は少くとも百五十 三名に達し住むに家なき者無 意二十萬人に達し損害は二億 方ワシントンホトマツク公園 高も少、
和櫻の被害も不可避となり花
和櫻の被害も不可避となり花

明日商業學校で 一十二日午前九時から商業一回新京日滿對抗卓球大會

春季清潔週間

新アナさん 配屬決定

間取

下宿御案內

田取 御一人六疊各室共に日富良し御食事朝晩二食でおそく迄用意して居ります 西 五 馬 路 一大 一届 旅 管

福(金) 1四三八番

萬年筆などを誰かに盗まれた

程を終了し、先日其の配屬がサー五名は、態々講習の全課サー五名は、態々講習の全課 競談それぞれ就任した 哈同新率大 爾 京天連

貸

六疊、二間別に十疊の離間あり

八疊四半(應接間) 羽衣町四丁皿

御望の方は 電(三三九〇〇番へ

十六日開業致しました皆樣御待望の日之出湯三月

何卒御愛浴の程御願ひ申し

税町三丁目 青陽ビル内 至午後十一時

級貨

煖房便所其の他完備期間強官間地下室日當り良し八、

其 間

御希望の方は 電話(2)三〇八五番

姉妹車 日米商店富士自脚車と 界に誇る名車!! 品質競爭に 斷然

挨

有之候間此段謹告仕候也

「一切り關係ヲ絕チ今日ニ至リタルモノニテ該記事ハ全ク事實無根ニテ一切り關係ヲ絕チ今日ニ至リタルモノニテ該記事ハ全ク事實無根ニモ小生ハ一昨年大本教ヲ脫退シ直ニ祭壇ヲ撤去スル他合法的手續ヲ以ブ」ナル記事中小生ガ大本教ニ關係アルガ如ク思ハシムル記事有之候謹啓新京日日新聞本年三月十八日朝刊ニ「大本教撲滅ノ手新京ニモ及謹啓新京日日新聞本年三月十八日朝刊ニ「大本教撲滅ノ手新京ニモ及

新京日本橋通三十七番地

一、本人來談 (午前十一時より午後二時まで) 一十二日(日曜日) 一十二日(日曜日) 大學校卒業程度

大同大衛康總會館 新京出張所 新京出張所

年齢二十才前後履歴書持念、本人而談 年齢二十才前後履歴書持念、本人而談 日本橋通り七六 女子事務員募集

●(%)川4六

(大馬路目

機房、水洗式便所等完 高舎、日本量六疊三室 高舎、日本量六疊三室 高金庫、銭筋コンクリー 大洗式便所等完

錦町四丁目一七ノニ

19 (用曜祭日は必ず晝間)

一日午後一

人會社 電架公司 御指定 新京大馬路四九 田商會本店 電話③一調允许以籍

南嶺記念碑の

てゐるが、エミグラント諸れらは一口に白茶館人と言

日の日曜日を利用して淨月潭近まで乗り出し遠乗會は各委 售である 擴充して體育の向上に費する

廿三日より

新京特別市公署では春季の傳 染病流行期に入るに伴ひ防疫 染病流行期に入るに伴ひ防疫 決病流行期に入るに伴ひ防疫 大法の第一手段として來る二 十三日より四月四日迄十二日 間に宜り本年度春季清潔法並 に清潔週間を施行する事とな つたが、本年は特に首都警察 應と協力し市の衛生隊を臨時 展案の保健思想を演奏する事 となつた、尙この期間に清潔 となつた、尙この期間に清潔 となった。尙この期間に清潔

マ ひ や め し お 日 那 △ 整府京都、近 で下風茂の第二回落語ド・キーである。 小林正の原作脚色により、 種和しくしてあればレッキとした糸屋の若且那が道樂が過ぎたばかりに勘賞となり、 科
こんて了ふが、女將には別にイロがあり、その上街
こんで了ふが、女將には別にイロがあり、その上街
こんがらがつて来るといつたお笑ひ話、主演者は小笠
の暴れん坊が女將に懸想してゐるので大變に話がこ
の暴れん坊が女將に懸想してゐるので大變に話がこ
の暴れん坊が女將に懸想してゐるので大變に話がこ
の最からがって来るといつたお笑ひ話、主演者は小笠
の最が命しめ



散りもせず(本調子)

性な首尾して間やとなりの桃の木に

島 遠 赤 癸 日 宿 日 二 廿 月 三 田 九 廿 月 二 雷

●一白の人 苦労して歸れば ・ こと癸と丑が吉

●二黑の人 目上に順服すれ サー日の夜は新京倉館へ 春季皇靈祭の催し ・ ヒルマは十銭ダンス ニナニ日(午後一時半より) ニナニ日(午後一時半より)



春雨に相合傘の濡れたどしい つか女夫をまつの花、わたし が船にのりがきて、ふかみ、

「あなたはどんな映画を見たいか?」 | 本社演藝部が帝都 アンの関心に投じて企蜜競奏 アンの関心に投じて企蜜競奏 アンの関心に投じて企蜜競奏 アンの関心に投じて企蜜競奏 アン・デキャップを見事に征 帝都キネマ廿四日より上映

五八票「花樂菱腰俱樂部」
二一票「極樂菱腰俱樂部」

や大少ニ不拘電話ヲオカケ下サイマクカラ炊事場及便所、排水等ノ故障の大少二不拘電話ヲオカケ下サイマ 衛設計畫等工事時代 新京永樂町三丁目十二番地

三、大運動會歡 お書を飾 粹な小唄集一 一一・五〇郷土劇の午後

お馴染綺麗ところの出演・ うちかけにかくす男の裾模**様** 八重一重(三下り)

ファンの投票による

替手…桐 盛 房千代三味線…田 村 てる蝶

後二時】

浮氣鶯(本調子)

と心にとめてわすられぬ

以一てさゝやく摩や苦の船 / 業ざくらや月も木の間をちら あろかいな、どぢやろかいな て千ヶ寺詣りの道行はどうで 葉ざくら〈三下り〉 ま」になるなら

あさざくら春と云ふのもこ、散りもせず吹きものこさず。

一○・○○ 北端の時間 「休中の小屋」 がレーミン

ふりかけられたい忘れ草

官幣中社 (長江より) 出雲大社神代 神教 (長江より) 出雲大社神代 神教 大社教本院神樂部員 (鹿兒島より) 鹿兒島仁輪 加「春は朗か」 村田 幸 湖 場)
一個の宮の仇討(岩吉内の場)
「大和家小寶樂場)
「大和家小寶樂外人名古屋より)源氏節芝居
「大和家小寶樂 場) 大和家小寶蜂場) 大和家小寶蜂 選子 岩薬會連由

九.〇〇 唱 翻 調 (京城)
九.〇〇 唱 翻 調 (京城)
1、短歌「不須類」
一 貞 烈

・同時上映 ▼原作村上浪六 佐曹助兵衛 を明日限り 本 十 銭 下 五 十 銭

場方楊楊 六五 面丈郎郎

樂園

●梅ヶ枝料

其他一品料理

●三碧の人 有利の日なれど

支の殿堂別

豐

樂劇

て加なるに應募者が非常に多かつた事嬉しく存ましたが何としてもバヅル全盛の往時が偲ばれ第一回の試みとして少々混入り過ぎた感もあり 多く有りました 骨鷹寡規定 多く有りました 骨鷹寡規定 違反のものも不 正解と認め

優待 懸賞對

而高矛 發表

家間三家間二家間一敷設場 賃取了賃取了賃取平金備所 二ケ月分温水式煖房、水洗式便所、浴槽、塵箱等新發屯凊和街

東亞與業株式會社新京出張所特別市淸和街一〇一號 五拾壹圓前家賃工拾壹圓前家賃 六十五圓 五十五圓 三聲、四疊半、大學、大 家(一棟二戶) 前家賃

定員 満 人 五 十 名 常舎費 三 食 附 二十五圓 神込者多數に付希望者は至急申込まれた 単込者多數に付希望者は至急申込まれた 明治自動志 車線習所を用りません。

は賣出品種に應じ一割乃至四割の割引を は賣出品種に應じ一割乃至四割の割引を は賣出品種に應じ一割乃至四割の割引を 対します かします

別大賣出



事務の能率増進には 時代の寵兒ダツトサンを!

新京大馬路西六馬路

清水貿易株式會社新京出張所 同サービス部

電話長(2)二九五一番

の絶好期來る」 何卒倍舊の御引立を!



商賣繁昌には先づ ダツトサントラツクを

車です

長 運轉資格……オート三輪車に同じ 費……絕對的僅少です トラツク……酷寒風雨にも二人乘座 席で樂に運轉が出來ます ** 速度。出力。安全。乘心地。登坂能力。

積載量の總でに於 て最高級の小型

WE TIT 百貨はア アサヒ新聞 サササ

黑 多少 煉 に不拘御用命の程を 瓦 製造販賣 業合 話③氣質會社 資

品名 (曲尺) 深 1R3+7 小 ()羊 版用 中(和服用 中の函は和股ニッ折小雪は洋服ニッ揃 帆船姐帆

七五五

圓名名

た